

「皇女様の初物ま●こ喰えたって男して最高の名誉だわ(笑)」

「ふっ…おおお…皇女様が俺のち●ぽをしゃぶって…」

「ふっうっ！んぐっ…んんんっ！」

「ふーっふー…っ!!駄目だこれ…気持ち良すぎ…腰…止まらねえって…っ」

「んっ…んぶっ!んっんっん!!」

「あああ…っイっくっイっくっ!!ま●こ種付けいくぞっ!!」

じゃぽ

じゃぽ

びゅ

びゅ

びゅ





「ぶっ！  
ん？…ウズンン！！」

「俺のすげえ濃いけど  
頑張って全部飲めよ♡」

「お…ぶっご…おヴッ  
ぶ…おぐ…ぶっ！」

「はあ…はあ…  
まだまだ射精るぜ…」

「オ…オレも…イク…ッ！  
孕めッ孕めアルフィンッ！！  
平民のガキ孕めえええッ！！」





「ふ…おお…おお…  
孕めッ…孕めッ  
初物ま●こ種付けで孕め…ッ!!」

「んッ?!  
んん—ッ!!」

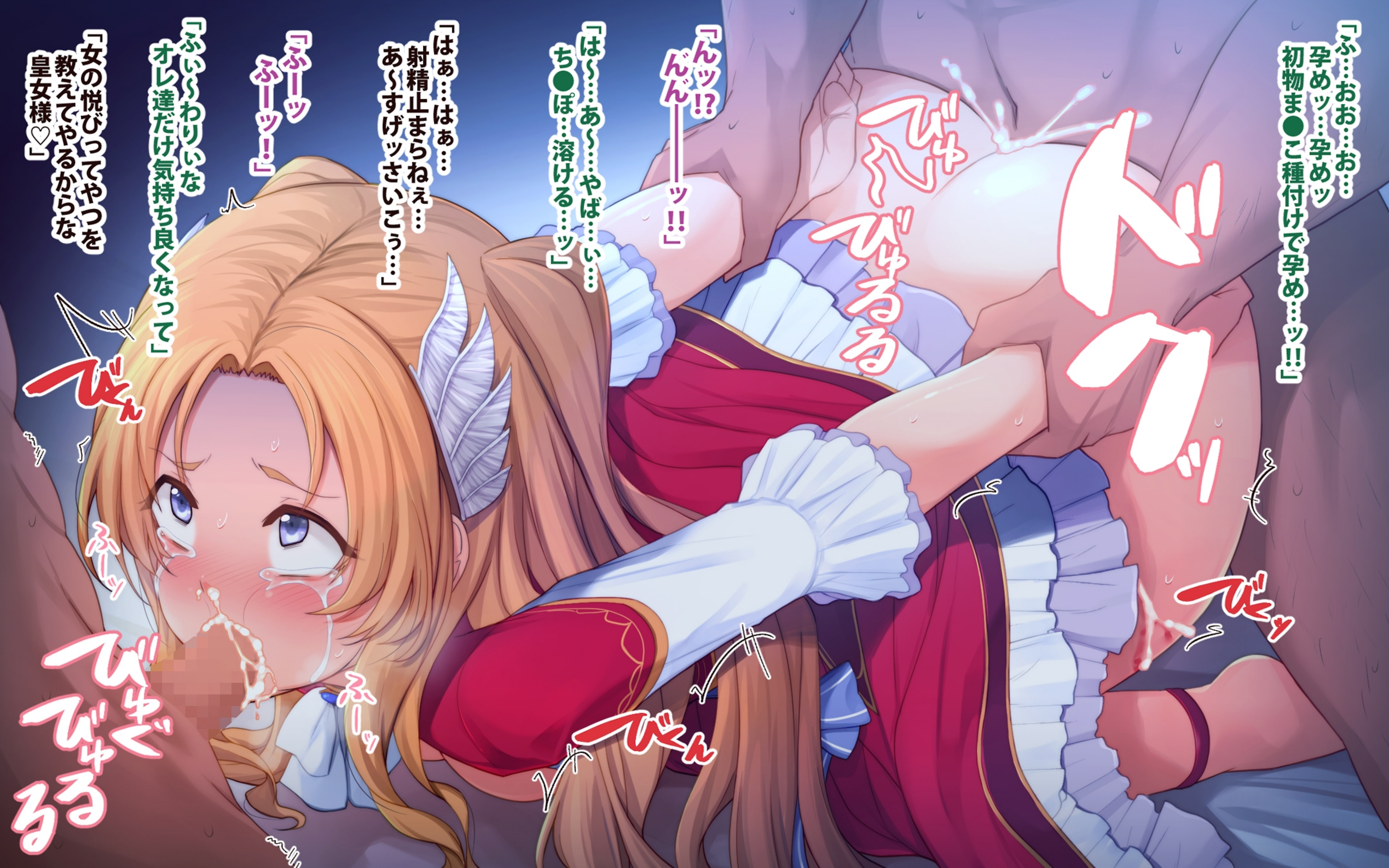
「は…あ…あ…やば…い…  
ち●ぽ…溶ける…ッ」

「はあ…はあ…  
射精止まらねえ…  
あ…すげッさいごう…」

「ふ…  
ふ…ッ!」

「ふい…わりいな  
オレ達だけ気持ち良くなって」

「女の悦びってやつを  
教えてやるからな  
皇女様♡」





「数時間後」

「おらッ！イクぞッイクぞアルフィンッ！  
どこに射精して欲しいか言ってみろ!!」

「おぐッ♡おま●ごのおぐにッ！  
ひやねじるください♡  
くだざいいいッ♡」

「そんなに俺のガキが欲しいのか!？」

「はひッ♡ほじいですッ！  
だからッだがらッ  
おぐにびゅーっでッ！  
びゅーっでしてください♡」

「ぐっ…お…ッ  
アルフィン孕めッ孕め！  
俺のガキ孕んじまええええッ!!」

「ひゃあああッ♡  
おぐッおぐくるつうッ!!」

「ふ…はあ…  
皇女様に種付けねだられるとか  
征服感がすげえわ…♡」

「ふあ…あ…♡  
た…ねづ…げ…♡」

「びゅッ♡」

「びゅ♡」

「びゅ♡」

「ぞ♡」

「ぞ♡」

















